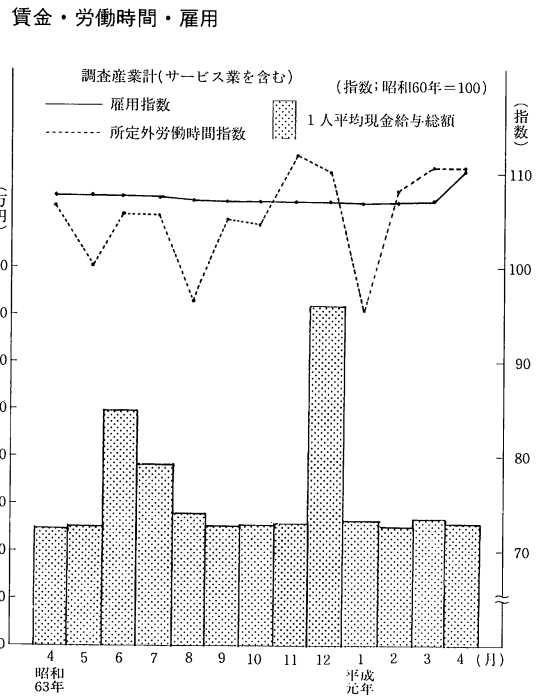
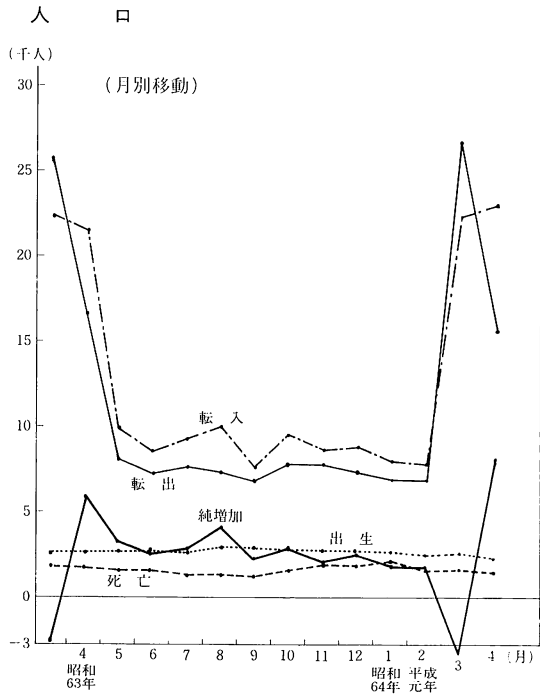
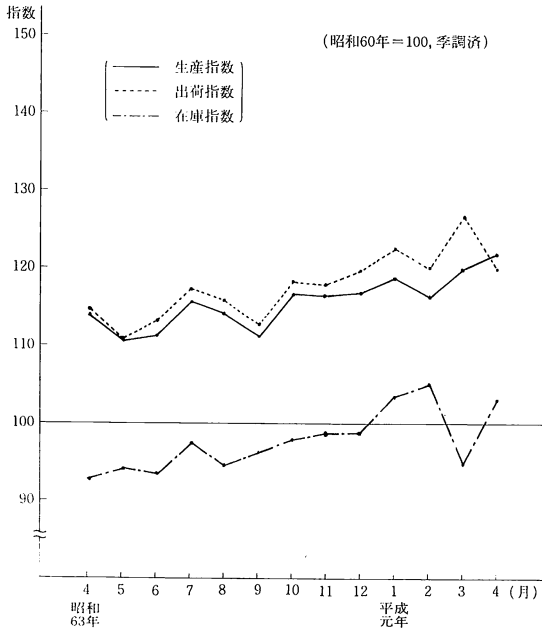


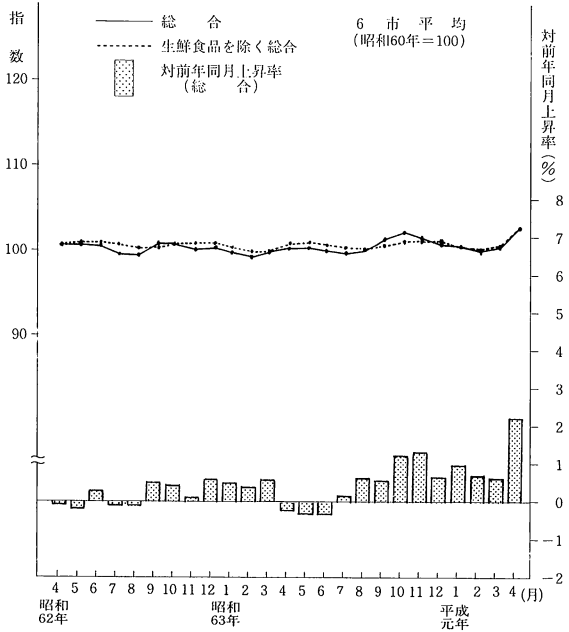
今月の主な動き



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部統計課

■ 人 口 (5月1日)

本県の人口は、4月中に8,178人増加し、5月1日現在で2,812,745人(男1,401,961人, 女1,410,784人)となった。

内訳は自然動態で825人(出生2,210人, 死亡1,385人)増加し、社会動態で7,353人(転入23,049人, 転出15,696人)増加した。昨年5月1日現在と比較すると、29,451人(1.06%)の増加である。

市町村別では、増加が18市46町村, 減少が2市20町村, 増減なしが2町村である。4月は例年のとおり、社会増加により人口が目立って増加する月であるが、特につくば市の増加は2,998人で、県全体の増加の36.7%を占めた。

世帯数についても、7,294世帯増加し、807,849世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (4月)

1. 平均賃金の推移

4月の現金給与総額は、調査産業計で260,118円, 前年同月比5.6%増(前月は2.6%増)であった。このうちきまって支給する給与は、255,000円, 前年同月比4.7%増(前月は3.6%増)であった。また、きまって支給する給与のうち、所定内給与は223,889円で前年同月比4.0%増(前月は2.6%増)であり、超過労働給与は、31,111円で前年同月比9.6%増であった。

なお、実質賃金は、前年同月比3.5%増であった。

2. 労働時間

4月の総実労働時間は、186.7時間で、前年同月比0.4%減(前月は2.6%減)であった。このうち所定内労働時間は、166.9時間で、前年同月比1.1%減(前月は3.4%減)であった。また所定外労働時間は19.8時間で前年同月比4.7%増(前月は4.7%増)であった。

3. 雇用の動き

4月の常用雇用の動きを前年同月比によってみると3.0%増(前月は2.3%増)であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (4月分)

本県における平成元年4月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が122.1, 出荷が120.0, 在庫が103.1で、前月比は、生産が1.6%の上昇, 出荷が△5.4%の低下, 在庫が8.6%の上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が6.9%の上昇, 出荷が4.2%の上昇, 在庫が11.3%の上昇であった。

業種別に前月比をみると、生産では、精密機械工業、電気機械工業、鉱業等が上昇し、食料品・たばこ工業、石油・石炭製品工業、その他工業等が低下した。出荷では、精密機械工業、鉱業、電気機械工業等が上昇し、一般機械工業、

その他工業、食料品・たばこ工業等が低下した。在庫では、一般機械工業、食料品・たばこ工業、精密機械工業等が上昇し、輸送機械工業、鉱業、石油・石炭製品工業等で低下した。

特殊分類別に見ると、生産では、耐久消費財、資本財が上昇し、その他用生産財、非耐久消費財等が低下した。

出荷では、耐久消費財のみ上昇し、外の全ての財で低下した。在庫では、その他用生産財、建設財で低下し、外の全ての財で上昇した。

■ 消費者物価指数 (4月)

平成元年4月の茨城県消費者物価指数は、総合で103.0(昭和60年=100)となり、前月比2.1%の上昇, 前年同月比2.4%の上昇となった。

今月上がった主な項目……シャツ・下着8.2%, 乳卵類5.4%, 衣料4.5%, 果物3.8%, 外食3.4%

今月下がった主な項目……教養娯楽耐久財△1.8%, 電気・ガス代△1.4%, 野菜・海藻△0.7%

生鮮食品を除く総合は103.2となり、前月に比べ2.1%の上昇, 前年同月に比べ2.4%の上昇となった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	103.0	2.1	2.4	保健医療	105.5	2.2	2.6
食 料	102.0	2.2	2.6	交通通信	101.1	0.9	1.0
住 居	110.7	1.2	3.4	教 育	116.5	2.9	3.1
光熱・水道	87.1	△0.6	△1.1	教養娯楽	105.7	2.3	3.7
家具・家事用品	101.1	2.3	2.1	諸 雑 費	104.7	1.1	1.7
被服及び履物	105.6	4.9	3.2	生鮮食品を除く総合	103.2	2.1	2.4